

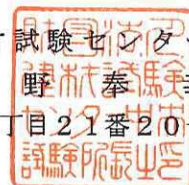


受付第01A1947号
受付日：平成13年10月24日

品質性能試験報告書

試験結果は以下のとおりであることを証明する。
平成13年12月 7日

財団法人 建材試験センター
中央試験所長 勝 野 木 幸 夫
埼玉県草加市稲荷5丁目21番20号



試験名称	木造建築用接合金物の引張試験
依頼者	会社名：株式会社 カ ナ イ 所在地：埼玉県八潮市西袋717番1号
試験体	1. 接合金物 名称：木造建築用柱脚仕口金物 商品名：ブレイヴホールダウン B-HD25 用途：柱脚の仕口に使用する金物（アンカー型） 寸法：図-3参照 材質：SPHC (JIS G 3131) 表面処理：ダクロタイズド処理 2. 接合具 六角スクリューダクロビス：8-φ6.0×90mm, 材質；SWRCH15R (JIS G 3507) 表面処理；ダクロタイズド処理 アンカーボルト：M16六角ボルト, 材質；SS400 (JIS G 3101) 表面処理；Ep-Fe/Zn 5/CM2 C (JIS H 8610) 3. 使用軸組 柱：樹種；すぎ, 寸法；105×105mm 含水率；11.9~16.1%, 密度；0.42~0.43g/cm ³ 4. 試験体数 7体（うち1体は予備試験体） 参照：図-1~図-3（試験体の形状・寸法）
試験方法	木造軸組工法建築物の許容応力度設計指針（案）（財団法人日本住宅・木材技術センター）の6. 2「平成12年告示第1460号に基づく仕口及び継手の試験法、評価法」に準じて行った。その詳細を表-1に示す。
試験結果	短期基準接合耐力(P _{0t})：25.6kN 耐力算定基礎資料：表-2 荷重-変位曲線：図-4及び図-5 破壊状況：写真-1~写真-6
備考	当該試験結果は、平成12年建設省告示第1460号表三（り）に定める25kN用引き寄せ金物（必要耐力25.0kN）に該当する。
試験期間	平成13年11月 7日 ~ 9日
担当者	構造グループ 試験監督者 橋 本 敏 男 試験責任者 川 上 修 試験実施者 室 星 啓 和 , 守 屋 嘉 晃
試験場所	中 央 試 験 所



受付第02A0767号
受付日：平成14年 6月14日

品質性能試験報告書

試験結果は以下のとおりであることを証明する。

平成14年 8月30日

財団法人 建材試験センター
中央試験所長 勝野 奉 幸
埼玉県草加市稲荷5丁目2番20号



試験名称	たて枠を介して接合された木造建築用接合金物の引張試験
依頼者	会社名：株式会社 カ ナ イ 所在地：埼玉県八潮市西袋717番1号
試験体	1. 接合金物 名称：木造建築用柱脚仕口金物 商品名：ブレイブホールダウン B-HD25 用途：柱脚の仕口に使用する金物（アンカー型） 寸法：図-3参照 材質：SPHC (JIS G 3131) 表面処理：ダクロタイズド処理 2. 接合具 木ねじ：六角スクリュー 8-φ6.0×90mm 材質；SWRCH22A (JIS G 3507)相当品であり，下記の化学成分を満足する。 C(0.18~0.23%)，Si(0.10%以下)，Mn(0.70~1.00%) P(0.030%以下)，S(0.035%以下)，Al(0.02%以上) 表面処理；ダクロタイズド処理 アンカーボルト：M16六角ボルト，材質；SS400 (JIS G 3101) 表面処理；Ep-Fe/Zn 5/CM2 C (JIS H 8610及びJIS H 8625) 3. 使用軸組 柱：樹種；すぎ，寸法；105×105mm，含水率；8.8~14.6%，密度；0.43~0.52g/cm ³ たて枠：樹種；すぎ，寸法；30×60mm，含水率；10.6~19.0%，密度；0.37~0.53g/cm ³ 4. 試験体数 7体（うち1体は予備試験体） 参照：図-1~図-4（試験体の形状・寸法）
試験方法	木造軸組工法住宅の許容応力度設計（監修：国土交通省住宅局建築指導課・木造住宅振興室，企画編集・発行：財団法人日本住宅・木材技術センター）の2章「木造軸組工法住宅の各部要素の試験方法と評価方法」の2。「平成12年告示第1460号に基づく仕口及び継手の試験法，評価法」に従って行った。その詳細を表-1に示す。
試験結果	短期基準接合引張耐力(P _{ot})：28.5kN 耐力算定基礎資料：表-2 荷重-変位曲線：図-5及び図-6 破壊状況：写真-1~写真-6
試験期間	平成14年 7月 9日 ~ 10日
担当者	構造グループ 試験監督者 橋本 敏 男 試験責任者 川上 啓 修 試験実施者 室星 啓 和 ， 加藤 裕 樹
試験場所	中央試験所